

世界が進むチカラになる。



レポート

ファイターズファーム施設誘致が もたらす統合的価値評価レポート

2025年11月19日

経営戦略第1部

ディレクター 大野知也

マネージャー 床井直人

コンサルタント 大島皐

コンサルタント 田邊佳祐

はじめに

- 2024年2月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(以下当社またはMURC)は株式会社三菱UFJ銀行、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント(以下FSE)、北広島市の協力を受け、北海道ボールパークFビレッジ(以下F VILLAGE)が地域や北海道および関連するステークホルダーに対してもたらす統合的価値(社会的価値および経済的価値を合わせた概念)の可視化を目的としたレポートを作成いたしました。
 - 参考: [北海道ボールパークFビレッジによってもたらされる統合的価値評価レポート | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング](#)
- 今般、北海道日本ハムファイターズが北海道内における新ファーム施設の開発意向を表明したことを踏まえ、当社は三菱UFJ銀行との協働の下、F VILLAGEに続いて新ファーム施設が実現した場合の統合的価値を予測するレポートを作成することといたしました。
- 本レポートでは、新ファーム施設が開発された際にもたらされるインパクトについて、以下の3つの視点から当社独自の考察を行っております。
 - 新ファーム施設が住民、産業、自治体へもたらす経済的価値・社会的価値
 - 施設開発によって生じうる民間事業者にとっての事業機会
 - 新ファーム施設の実現に向けて対処すべき課題
- なお、新ファーム施設の開発候補地や開発構想の詳細については現時点では未定ではありますが、FSEには開発の目的・概要に関するヒアリングにご協力をいただいた上で、レポートを作成しております。

アウトライン

- I. ファーム施設開発がもたらす価値の全体像
- II. ファーム施設開発がもたらす価値(詳細)
 - 経済的価値
 - 社会的価値
- III. ファーム施設開発に伴う民間事業者にとっての事業機会
- IV. ファーム施設誘致によって目指すべき都市開発モデル

I. ファーム施設開発がもたらす 価値の全体像

ファーム施設移転について

- ファーム施設は現在千葉県鎌ヶ谷市に所在し、1軍本拠地のある北海道北広島市から地理的に大きく離れている
- 施設の老朽化も進行しているため、北海道日本ハムファイターズおよびFSEは2025年7月にファーム施設を北海道に移転する意向を表明

北海道日本ハムファイターズ・FSEは、
“ONE BASE HOKKAIDO ～新たな拠点の創造～”
と題し、ファーム施設を北海道へ移転する意向を表明

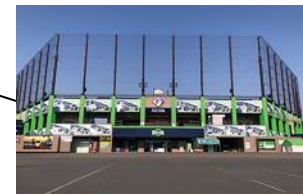
札幌市、北広島市、恵庭市、江別市、千歳市、苫小牧市
の6市と意見交換を開始
(2025年7月)



© H.N.F.

エスコンフィールドHOKKAIDO
(1軍本拠地、北海道北広島市)

現状、1軍球場とファーム施設は地理的に大きな距離がある
鎌ヶ谷スタジアムは老朽化も進行



© H.N.F.

鎌ヶ谷スタジアム
(ファーム施設、千葉県鎌ヶ谷市)

(出所) 各種公開情報より当社作成

ファーム施設開発の方向性

- ファイターズにとっては、地域と共に歩む育成・コンディショニング調整の拠点となるだけでなく、住居や商業施設開発などを含む包括的な構想に基づいた開発を重視
- チーム関係者・ファンのみならず、周辺住民・行楽・観光客など多様な人々が集う地域の拠点となる施設として、まちづくりと連動した複合的に開発を予定。これによって既存のファーム施設とは一線を画す存在となることが期待される

新ファーム施設開発

既存の一般的なファーム施設

開発の方向性

まちづくりと連動した複合開発

チーム施設単体開発

ファーム施設の要素*

施設の
位置づけ

チーム(球団)にとどまらない
地域全体にとっての施設

チーム(球団)のための施設

主な
利用者

チーム関係者・ファンのみならず、
周辺住民、地域外からの行楽、観光客

チーム関係者・ファン

内包施設

グラウンド、練習場、選手寮に加え、
商業施設、住宅など

グラウンド、練習場、選手寮

敷地面積

20～30ha程度

2～10ha程度

立地

駅前に立地
(エスコンフィールド、新千歳空港からの好アクセス)

郊外に立地

まちづくりと連動した
複合開発を通じて、

既存のファーム施設
には見られない、
一線を画す存在に

(注) *ファーム施設の要素については、既存の公知情報(既存ファーム施設および類似施設含む)を参考として、後段の経済的価値の算出のためにMURCIにて設定した仮定の値

(先行事例) Covenant Health Park

- 本ファーム施設開発の先行事例として、ファーム施設をハブに、居住、生活機能を含めた形でエリア一体を複合的に開発するMLBカブス傘下のノックスビル・スモーキーズの新球場開発が挙げられる

事例: Covenant Health Park(米国・ノックスビル/マイナー新球場)

- ファーム施設と並行して、居住機能(アパートメントなど)や生活機能(小売店など)を含む複合開発を推進
 - 球場を見渡せる約250室のアパートメント(50万~200万ドル程度)や、約40室のコンドミニアム、小売店、公園等が併設
 - 年間70試合程度、試合がない日は地域のイベントに活用(コンサート、フェスティバル、ビジネスミーティングなど)
 - 複合開発完了時には、約500の住居、約5万㎡のオフィス、約7万㎡の小売店・レストラン、約1,000台の駐車場の整備が見込まれる
 - ファーム施設周辺に、一般企業による小売とアパートの複合ビルなどの波及開発の動きも見られる

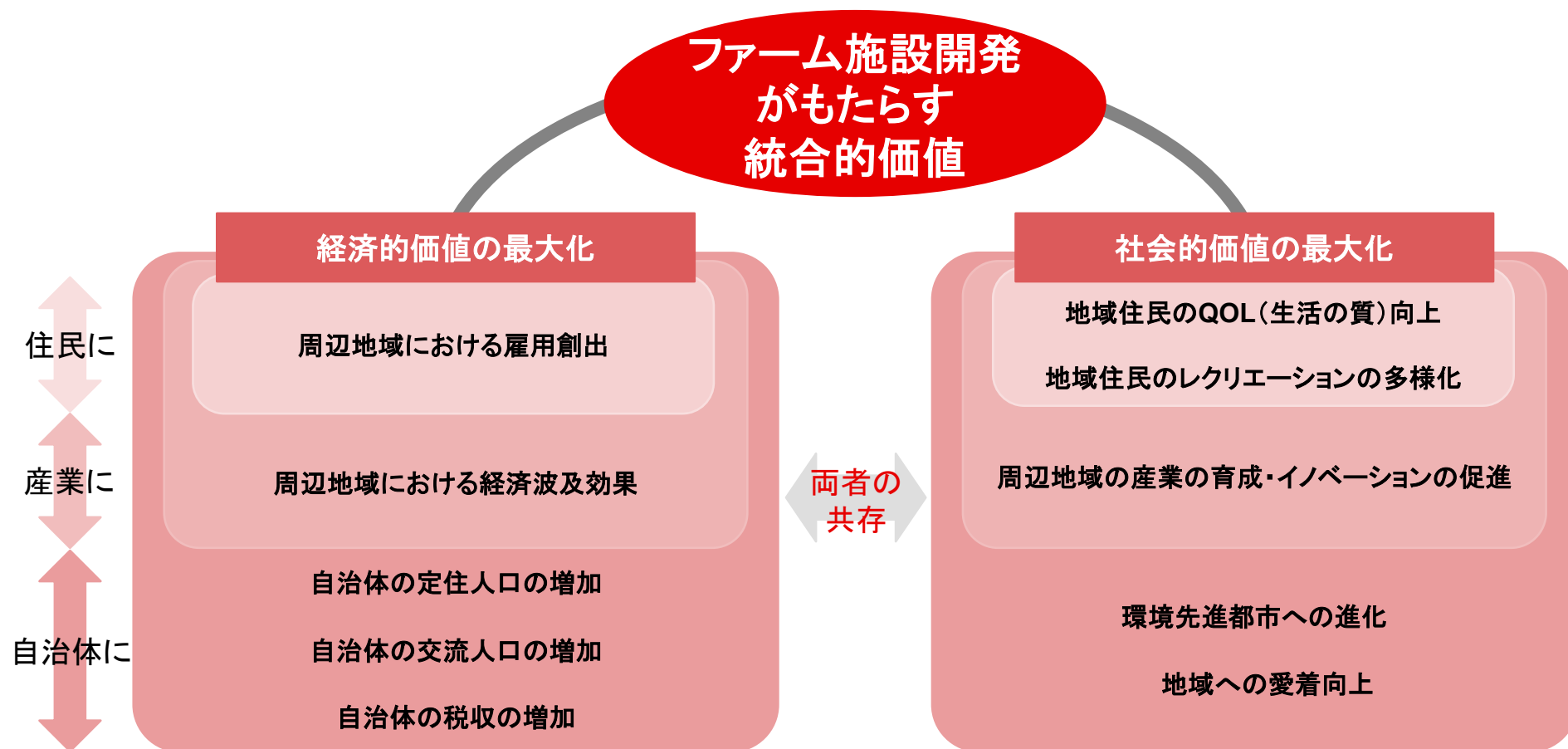


(出所) Grand Slam Knox HP (<https://www.grandslamknox.com/>)より画像引用

項目	内容
所在地	米国 ノックスビル (テネシー州)
収容人数	約7千人
開場年	2025年
ホームチーム	ノックスビル・スモーキーズ(シカゴ・カブスのAAチーム) ワン・ノックスビルSC(USLリーグ1(3部))
建設費	スタジアム:114百万ドル マンション:70百万ドル コンドミニアム:45百万ドル

ファーム施設開発がもたらす統合的価値の概要

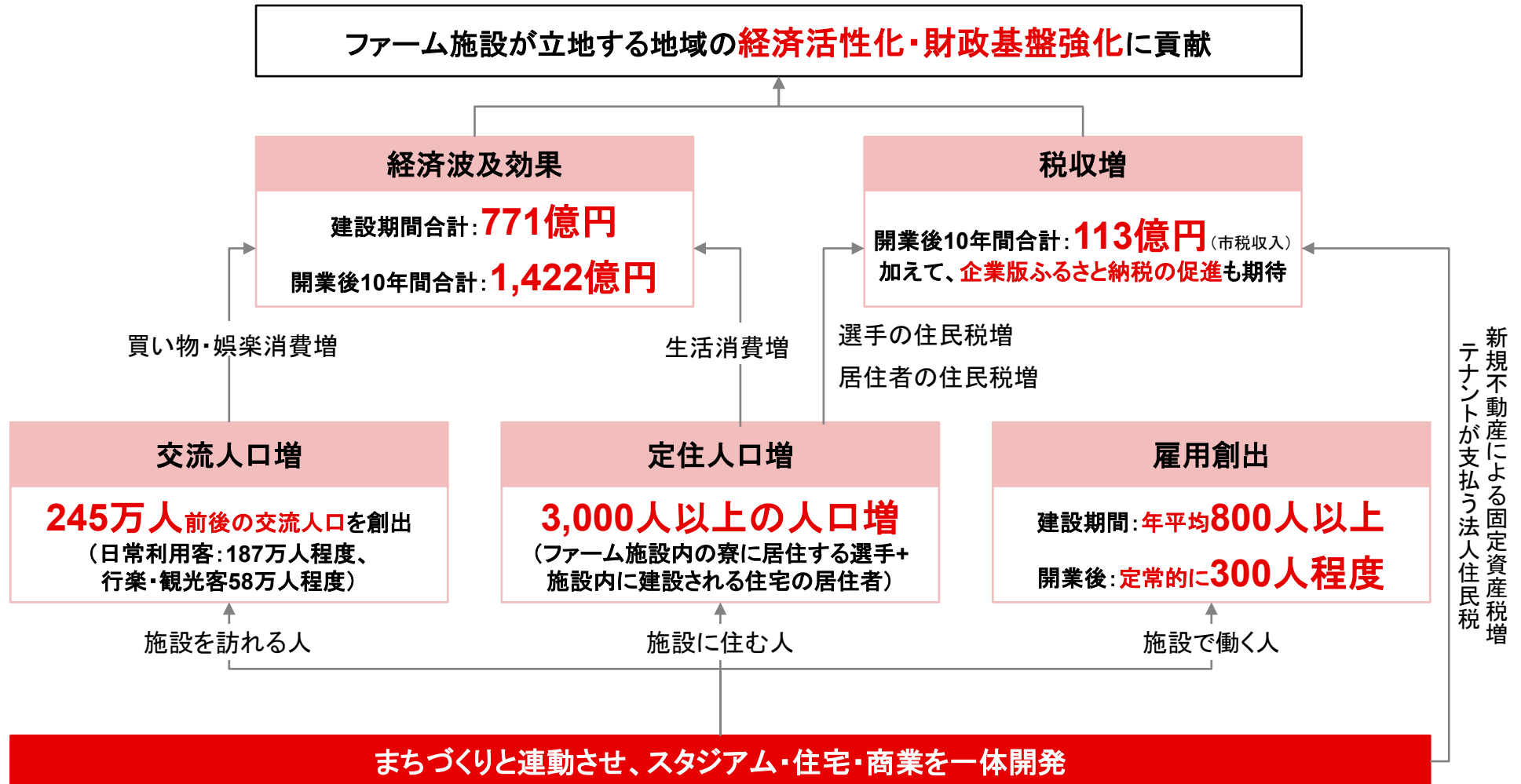
- ファーム施設開発により、社会的価値の最大化と、それと共存する経済的価値最大化を両立した統合的価値が期待される
- 統合的価値は、地域住民にとどまらず、産業や立地する自治体へと、広範な主体への価値提供が見込まれる



地域への貢献にとどまらない広範囲における価値提供

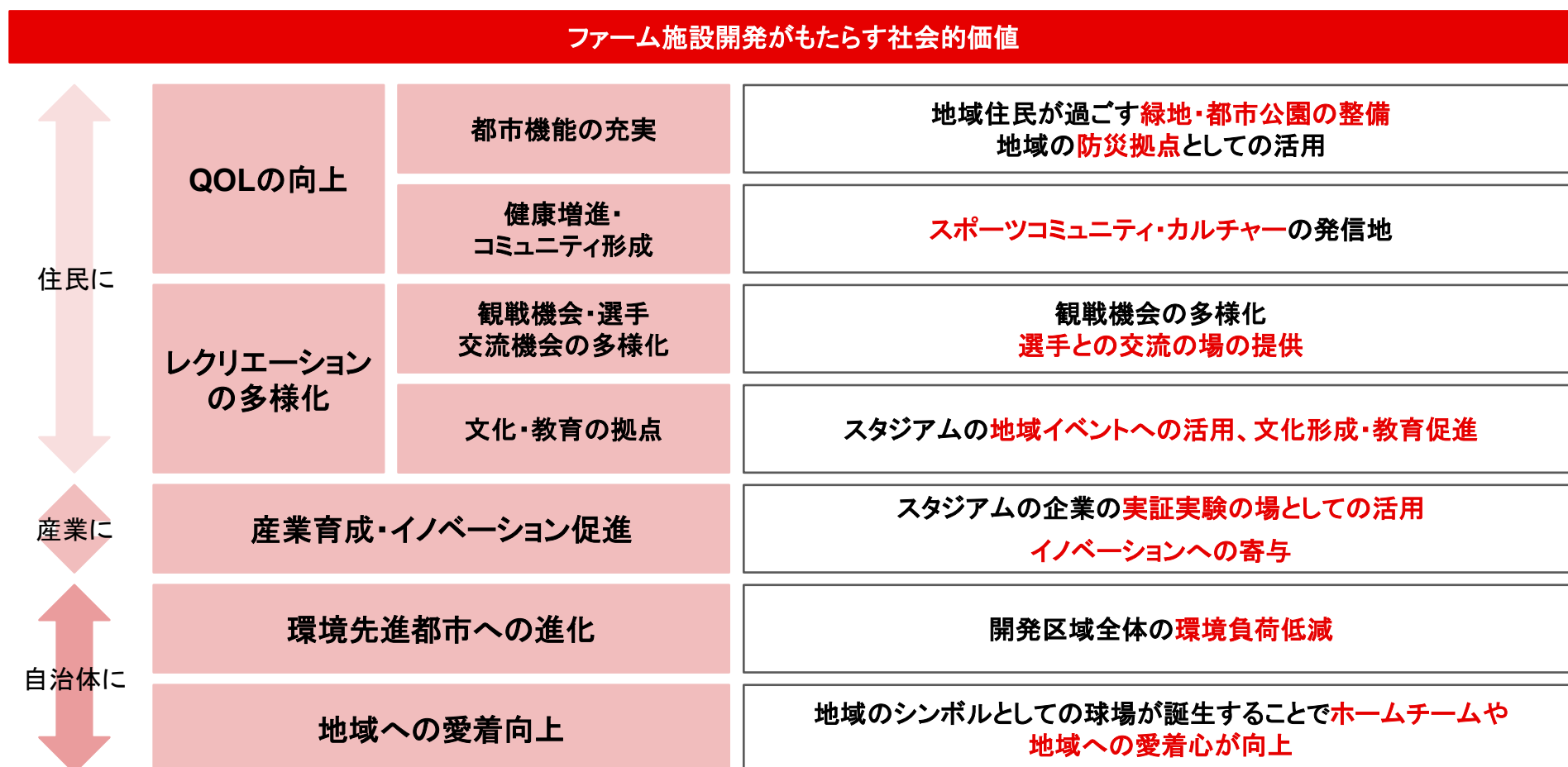
ファーム施設開発がもたらす経済的価値

- まちづくりと連動させた開発を行うことで、開業後10年間で、約1,420億円の経済波及効果、約110億円の税収増を創出し、地域の経済活性化・財政基盤強化に貢献する見込み



ファーム施設開発がもたらす社会的価値

- ファーム施設開発は、地域住民や産業・自治体に対して、QOLの向上、レクリエーションの多様化、産業育成やイノベーションの促進、地域への愛着醸成など、多様な社会的価値の創出が期待される



Ⅱ．ファーム施設開発がもたらす 価値（詳細）

經濟的價值

経済的価値|試算の主な前提

- FSE社の意向表明およびヒアリング内容、並びに各種公開情報を踏まえ、ファーム施設の立地条件や各施設の規模について、MURCにて仮定を設定し、経済的価値を試算

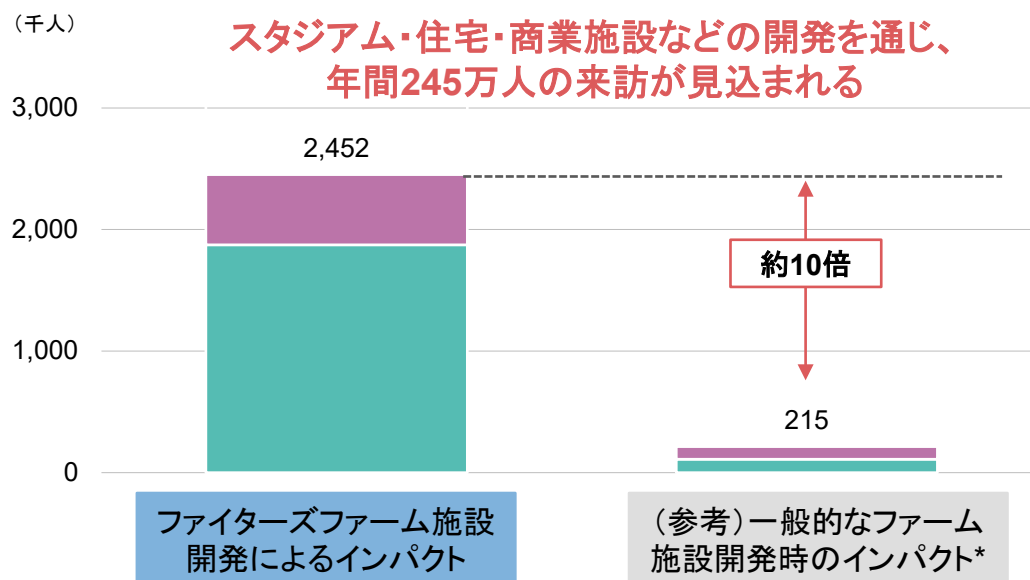
各施設の規模(MURC仮定*)

	敷地面積*	内包する施設*
スタジアムエリア・公園エリア	10ha	■ ファーム施設 ■ 室内練習場 ■ 選手寮 ■ サブグラウンド ■ 都市公園・緑地
生活エリア	10～20ha	■ 住宅(1,500戸規模) ■ 商業施設を含む複合施設(100～150店舗規模) ■ 駐車場(ファーム施設内住宅の居住者や来場者向け)

経済的価値|交流人口増

- まちづくりと連動した複合開発により、主にファーム施設内の住宅居住者を含む周辺住民による買い物など、日常利用目的の来訪が喚起され、年間245万人の交流人口増が見込まれる

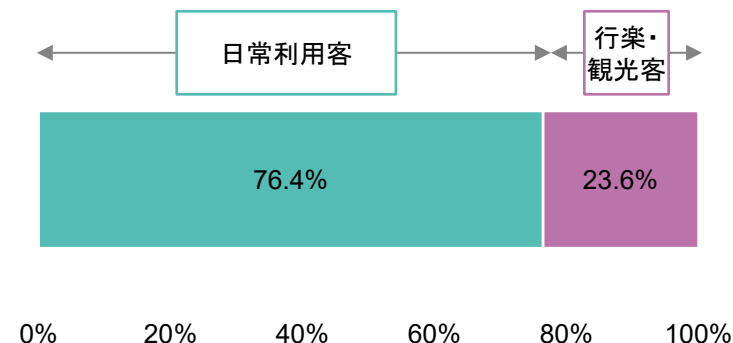
ファーム施設開発により創出される年間交流人口



創出される交流人口の特性

創出される交流人口の内訳は、買い物などの日常利用目的の周辺住民が大半を占めると予想

交流人口の構成比



要素

定義

行楽・観光客

- 市外や道外に居住し、行楽や観光を目的として、ファーム施設を訪れる来訪者

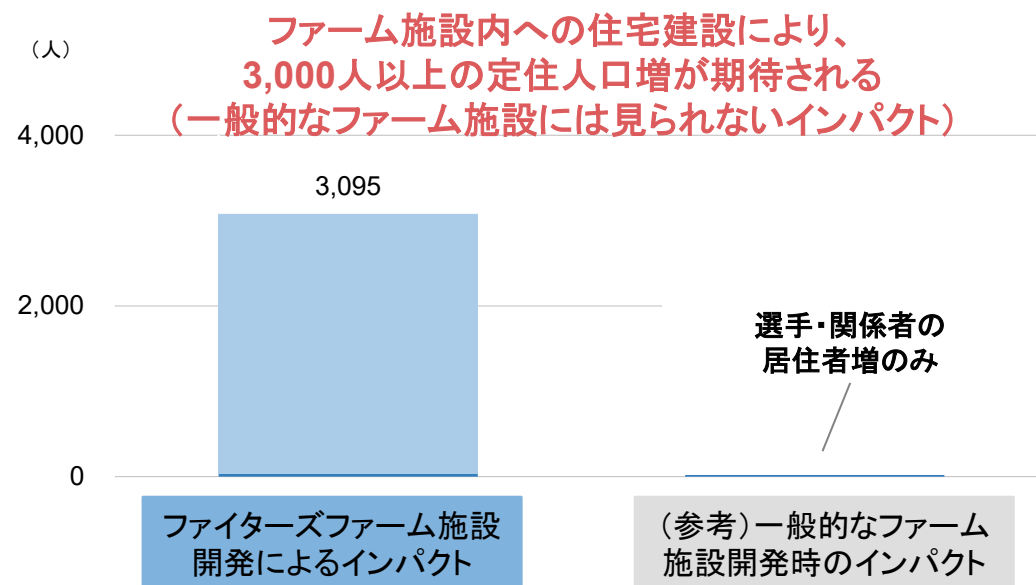
日常利用客

- 周辺エリアに居住し、日常生活(買い物等)や憩いを目的として、ファーム施設を訪れる来訪者

経済的価値|定住人口増

- ファーム施設内の選手寮のみでなく一般住宅の建設も進められるため、3,000人以上の定住人口増が見込まれる
- 中長期的に人口減少が見込まれる札幌都市圏において、定住人口増による人口減少抑制が期待される

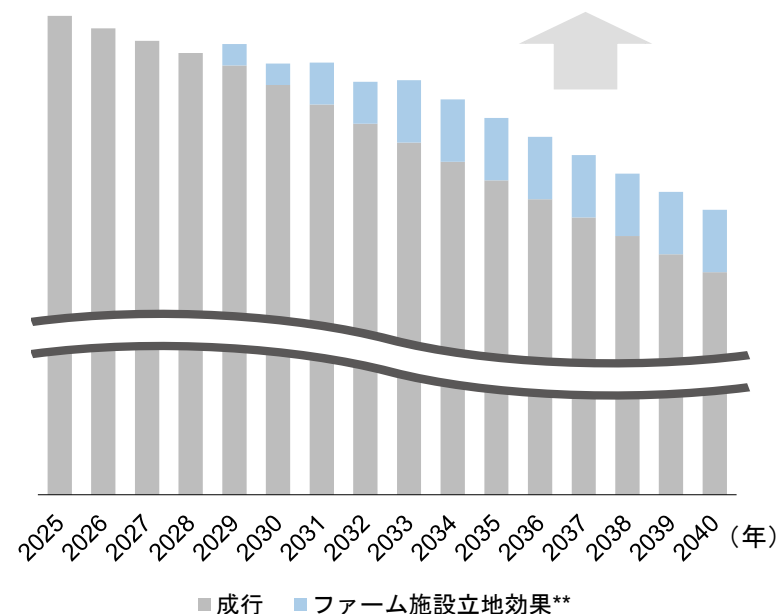
ファーム施設開発により創出される定住人口



立地自治体にもたらされるインパクト

立地自治体における定住人口推移イメージ

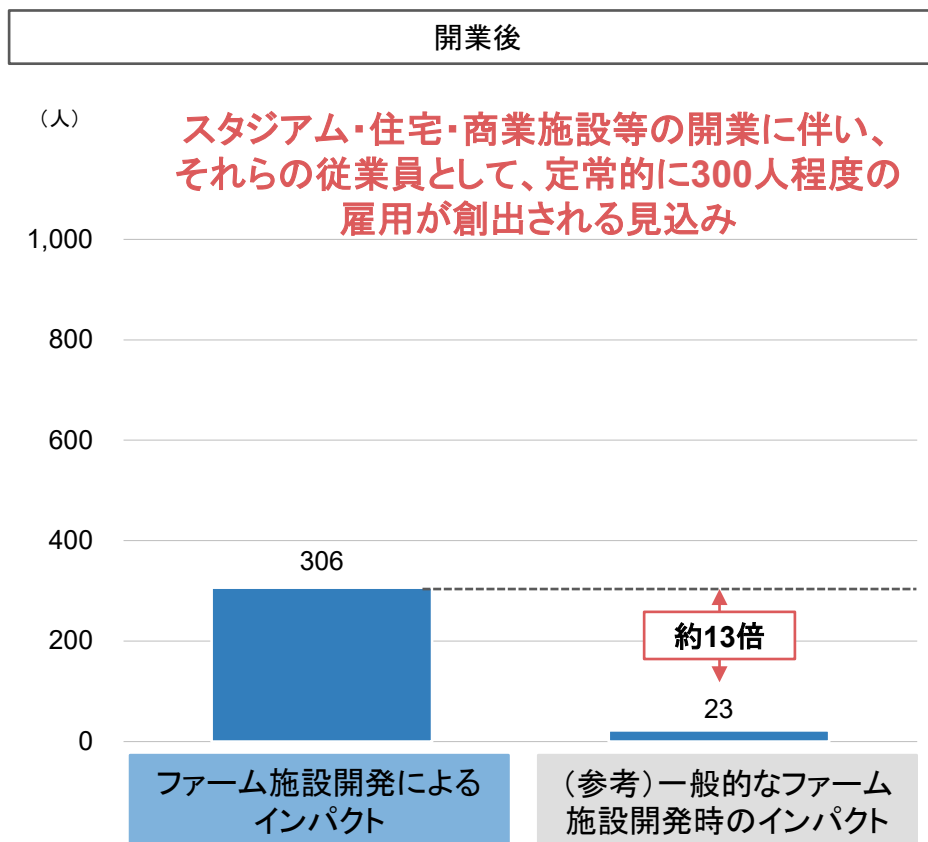
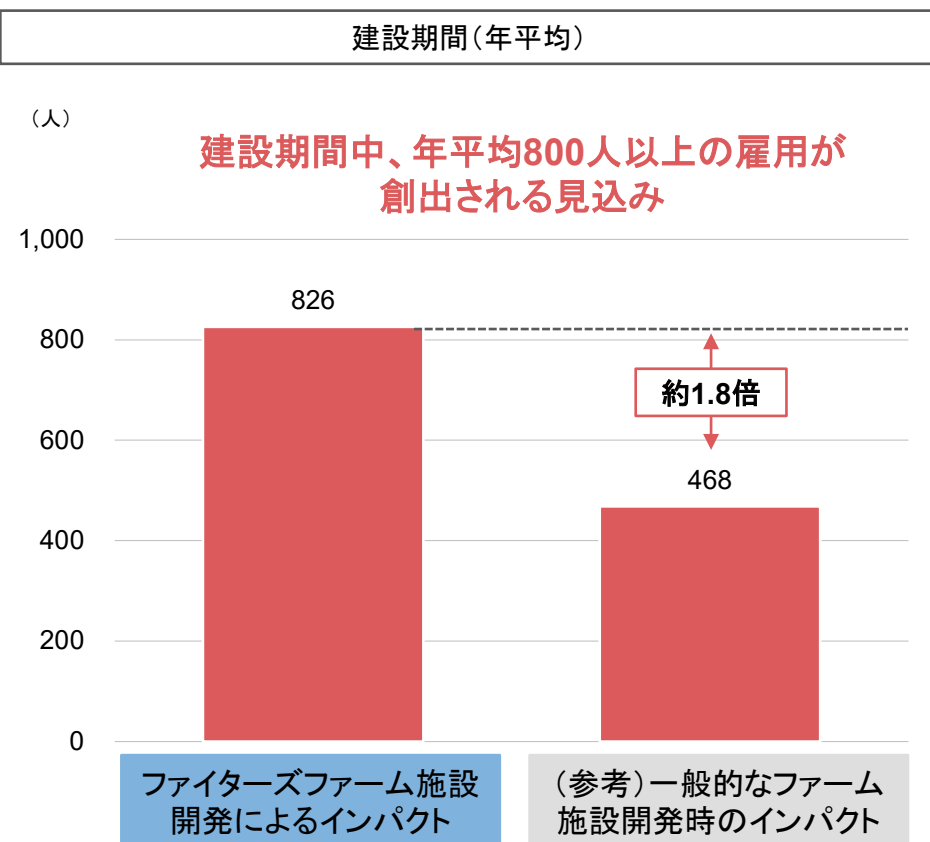
中長期で予測される立地自治体の人口減少を抑制する効果が期待される



経済的価値|雇用創出

- 建設期間中は年平均800人以上の雇用を一時的に創出。スタジアム・住宅・商業施設などの開業後は、各施設の運営・管理に携わる従業員として、定常的に300人程度の雇用が創出される見込み

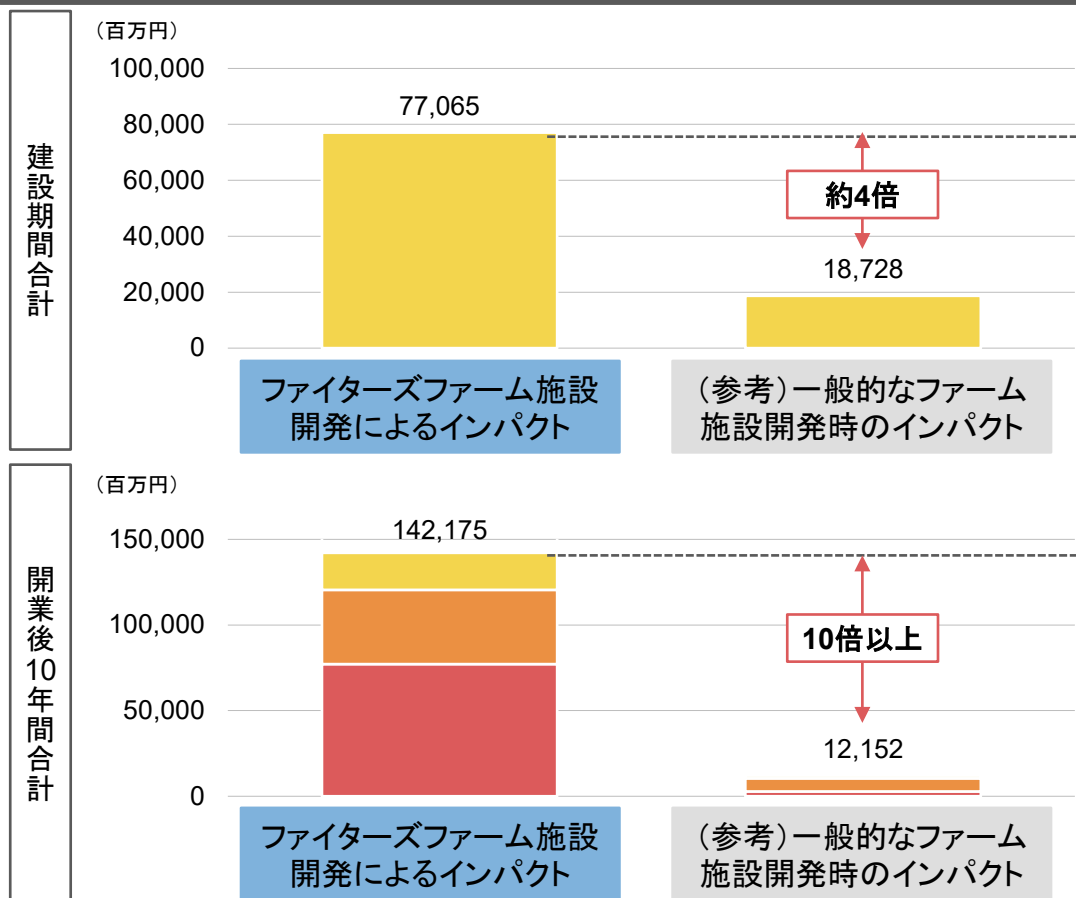
ファーム施設開発により創出される就業人口*



経済的価値|経済直接効果

- 建設期間には771億円、開業後は増加した定住人口による生活消費や、ファーム施設内の複合施設における買い物・娯楽などの消費活動により、開業後10年間合計で1,422億円の経済直接効果が創出される見込み

ファーム施設開発がもたらす経済直接効果

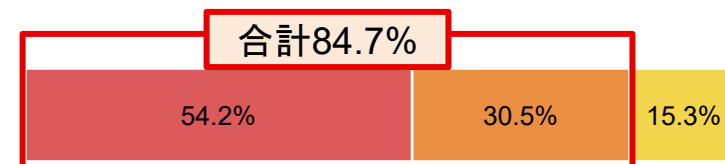


経済直接効果の定義と構成比

要素	定義
事業機会増による消費増	■ ファーム施設開発エリアの施設建設費 ■ 各施設における事業上の経費のうち、市内で支出される経費
交流人口増による消費増	■ ファーム施設開発エリアの各施設における来訪者の消費額
定住人口増による消費増	■ ファーム施設開発に伴い建設される住宅の取得費用・家賃および居住者の市内における年間消費額

開業後の経済直接効果の構成比

増加した定住人口による消費や、ファーム内施設における買い物等の日常利用に伴う消費が大半を占める見込み



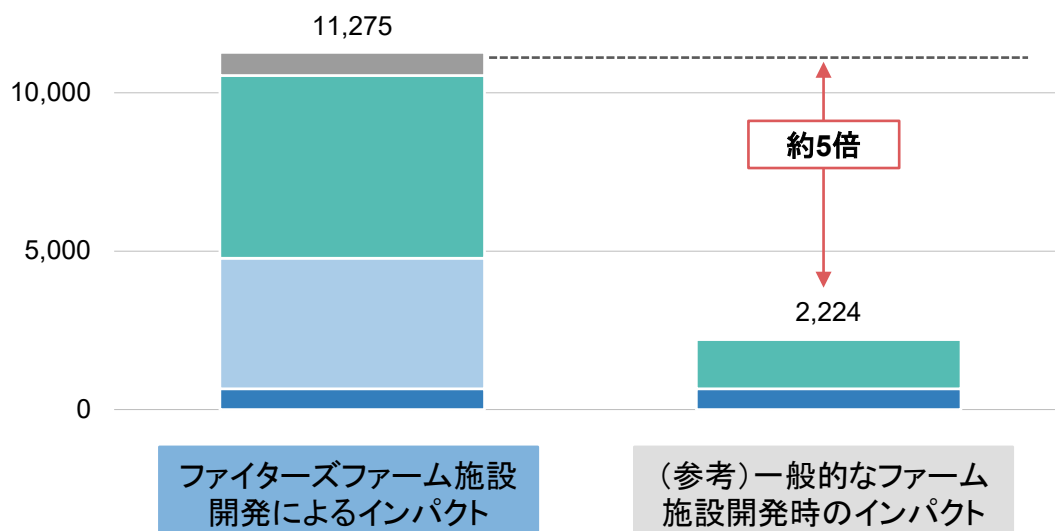
経済的価値|税収増

- 移住する選手による住民税(市税)収入、ファーム施設内に開発される住宅の居住者の住民税(市税)収入と、固定資産税・都市計画税収入により、開業後10年間累計で113億円の市税収入増加効果が見込まれる

市税収入推移(開業後10年間累計)

(百万円)

移住する選手やファーム施設内に開発される住宅の居住者の住民税(市税)収入や、固定資産税・都市計画税収入により総額113億円(年平均11.3億円)の市税収入増加効果が発生する見込み



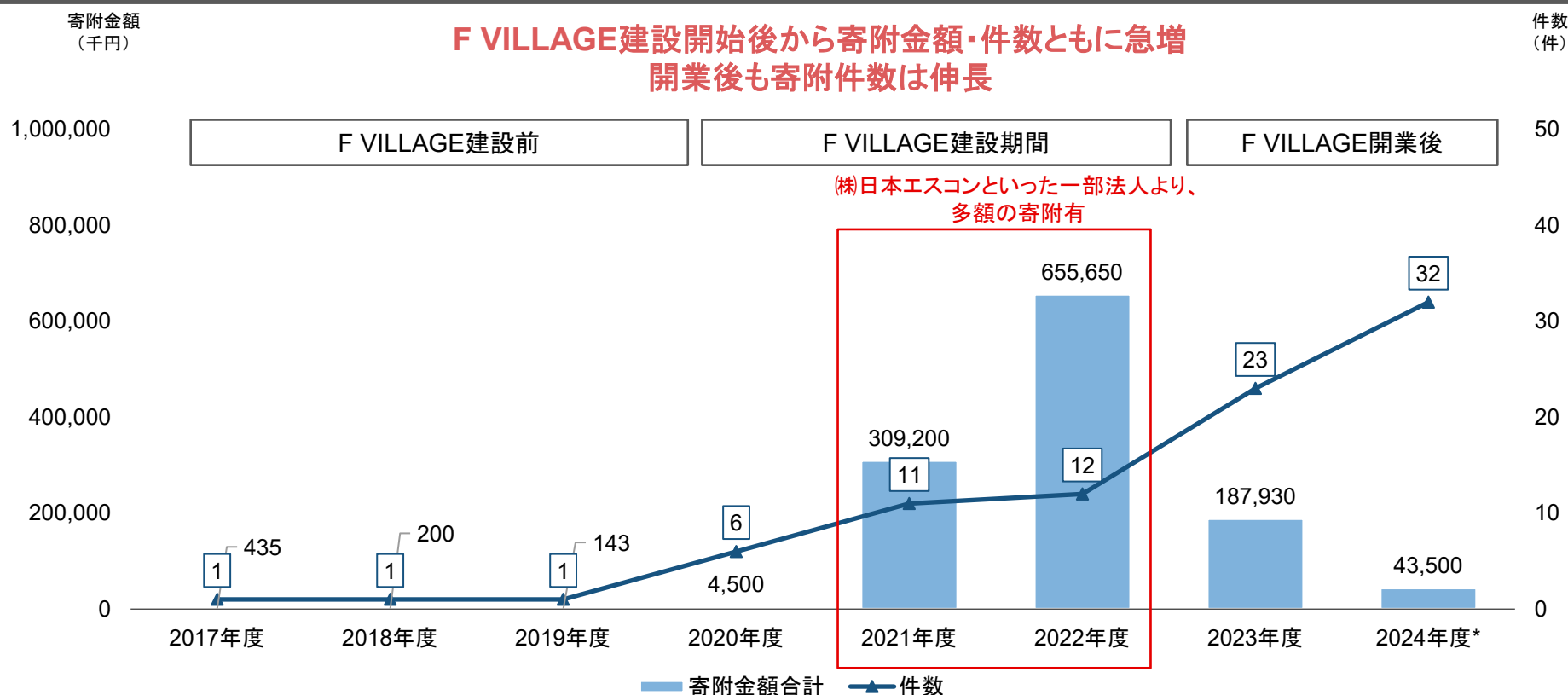
増加する市税の定義

要素	定義
その他市税	■ ファーム施設内に入居する店舗テナントが納める法人住民税 ■ 選手およびその他住民が支払う、たばこ税、入湯税、軽自動車税等の市税
固定資産税・都市計画税	■ ファーム施設(スタジアム、住宅・商業施設など)の所有者が納める固定資産税・都市計画税
住民税(その他住民)	■ ファーム施設内の住宅に居住する住民が納める住民税(市税)
住民税(選手分)	■ ファーム施設内の選手寮に居住する選手が納める住民税(市税)

経済的価値|(参考)企業版ふるさと納税の促進

- HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGEが立地する北広島市では、その着工時点から企業版ふるさと納税の寄附金額・件数が急増。同様の増加効果が、ファーム施設が立地する自治体に生じることが期待される

北広島市の企業版ふるさと納税寄附金額・件数推移(2017-2024年度)



(出所) 北広島市HPより当社作成
(注) *2025年2月時点データに基づく数値

社会的価値

- 球場と公園を併設して開発し、地域住民へ開放することで、憩いの場を提供
- 自治体の防災計画に基づき、災害時には地域の防災拠点として活用

価値概要

地域住民が過ごす緑地・都市公園の整備
地域の防災拠点としての活用

事例①: 日鉄鋼板 SGLスタジアム 尼崎(尼崎市/ファーム施設)

■ 公園と一体となった多目的のスタジアムパーク

- 球場整備と併せて、隣接する小田南公園、大物公園、大物川緑地を再整備。芝生広場やランニング・散歩用の周遊ルートなどを設置し、住民にとっての憩い・運動の場を提供
- 球場の観客席が尼崎市の「津波等一時避難場所」に指定されるなど、防災機能も備える



(出所) 尼崎市HP
(<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kankyo/hozen/1030389/1030390.html>) より
画像引用

事例②: PETCO Park(米国・カリフォルニア州/1軍球場)

■ 球場併設型の公園施設

- センター後方に球場のフィールド部分とほぼ同じ面積を有する子どもたちのための遊び場や野球場「パーク・アット・ザ・パーク」を整備。芝生の丘の上ではピクニック気分で観戦も可能
- 試合日は試合開始2時間前以降、球場チケット所有者のみアクセス可能。試合がない日は一般公開
- 官民一体でペトコ・パークと周辺地域の緊急対応ガイドを策定しており、地域の防災拠点として使用可能



(出所) サンディエゴ市HP
(<https://www.sandiego.gov/sites/default/files/legacy/petcopark/gallery/aerialview3.jpg>) より
画像引用

■ 施設内でスポーツプログラムを実施し、地域住民のスポーツ・健康増進やコミュニティ醸成に寄与

価値概要

スポーツコミュニティ・カルチャーの発信地

事例①: 横須賀スタジアム(横須賀市/ファーム施設)

■ 市民向け運動プログラムの開催

- 横須賀市の「田浦・追浜・逸見コミュニティセンター講座」の一環として、横須賀スタジアム内の芝生を活用した、ズンバ・太極拳・ヨガの体験を行うプログラムを定期的に開催
- プログラムを通じて、健康的な生活習慣の重要性や、運動の楽しさを発信



(出所) 横須賀市HP (<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/5560/sisetu/fc00000437.html>) より画像引用

事例②: Tampines Stadium (シンガポール・タンピネス/サッカー場)

■ データを活用したスポーツ・健康増進

- スタジアムが位置するOur Tampines Hubは医療福祉、スポーツ、商業・公共・エンタメの複合施設。データを起点としたさまざまなサービスプログラムの組み合わせと利便性向上によって、市民の健康づくりに寄与するスポーツ・健康増進空間を創出



(出所) 経済産業省「【スポーツ未来開拓会議】スタジアム・アリーナを起点とした持続可能な地域・社会づくり」より画像引用

社会的価値|観戦機会・選手交流機会の多様化

価値の対象・性質

住民

×

レクリエーション

■ 選手の練習風景の公開や、選手による野球教室開催を通じて、観戦や交流の機会を創出

価値概要

観戦・スタジアム利用機会の多様化

選手との交流の場の提供

事例①: 鎌ヶ谷スタジアム(鎌ヶ谷市/ファーム施設)

- 試合以外での選手との交流機会、スタジアムの利用機会の設定
 - 「かまがや☆子どもサポートクラブ」において、北海道日本ハムファイターズの元選手も参加する野球教室や親子キャッチボール教室などをスタジアムで開催し、チームとの交流機会を創出



(出所) 北海道日本ハムファイターズHP (https://www.fighters.co.jp/farm/chirdren_support/) より画像引用

事例②: Kraken Community Iceplex(米国・ワシントン州/アイススケート練習施設)

- チームの練習見学が可能
 - 「開かれた練習施設」を目指し、NHLシアトル・クラークン(本拠地・米ワシントン州シアトル、Climate Pledge Arena)のレギュラーシーズン中のチーム練習を定期的に無料公開



(出所) Kraken Community IceplexHP (<https://www.krakencommunityiceplex.com/kraken/practice-viewing/>) より画像引用

■ 施設内で文化・教育プログラムを実施することで、地域住民の文化・教育の拠点としての機能を提供

価値概要

スタジアムの地域イベントへの活用を通じた、文化形成・教育促進

事例①: 鎌ヶ谷スタジアム(鎌ヶ谷市/ファーム施設)

■ 子ども向け教育プログラムの実施

- 「かまがや☆子どもサポートクラブ」の一環として、北海道日本ハムファイターズOBとともに地域の名産品や産業を学ぶ小学生向けプログラムを開催
- 夏季にはサマースクールを開校し、行政と連携しながら、自然環境や防災に関する講座の実施、スタジアム内の職場体験などを開催
- 鎌スタ給食や読書推進キャンペーンなど、「子どもたちの笑顔を応援する」に資する活動を実施



(出所) 北海道日本ハムファイターズHP (https://www.fighters.co.jp/farm/chirdren_support/) より画像引用

事例②: Barclays Center(米国・ニューヨーク州/屋内競技場(バスケットボール/ホッケー))

■ イベントプログラムの提供/地元高校生によるテナント設置

- 地域住民対象の運動/料理/音楽教育、サステナビリティ関連活動を推進する専任組織を設置
- Barclays Center内に、食品業界でのキャリアに興味を持つ地元高校生が運営するテナントを設置。実践的なビジネススキルを磨く機会を提供する。生徒は大学進学に必要な資金を得ながら、ビジネスの各分野の企画・管理・運営に携わる



(出所) Barclays CenterHP (<https://www.barclayscenter.com/center-info/about-us>) より画像引用

■ パートナー企業や行政と連携し、施設にて実証実験を行うことで、地域の産業発展・イノベーションを推進

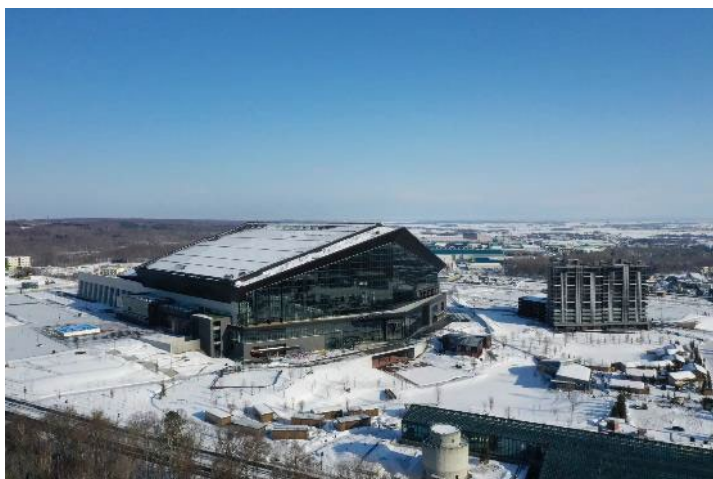
価値概要

スタジアムの企業の実証実験の場としての活用 イノベーションへの寄与

事例①: エスコンフィールド(北広島市/1軍球場)

■ 「冬のまちの活性化」に向けた積雪期間の実証実験を実施

- FSEと三菱UFJ銀行が、三菱UFJ銀行の出資先であるダイナミックマッププラットフォーム株式会社の除雪支援システムを活用し、冬のF VILLAGE内の除雪効率・除雪精度・周遊性の向上に向けた実証実験を実施
- 積雪期間における利便性向上・除雪作業の省人化に貢献し、F VILLAGEへの人の流れを生み、まちの活性化を推進



(出所) PR TIMES(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000095.000079050.html>)より画像引用

事例②: Johan Crujff ArenA(オランダ・アムステルダム市)

■ 球場が業界や領域を超えた協業を推進するイノベーションハブに

- 行政機関、サッカー団体、大手民間企業(テック、通信、金融など)、大学・研究機関、スタートアップからなるイノベーションエコシステムを構築
- 実証実験の場、データ活用、ネットワーク拡大、行政との連携推進、戦略・オペレーションにおける専門家支援、ブランド認知向上などのメリットを提供



(出所) 経済産業省「【スポーツ未来開拓会議】スタジアム・アリーナを起点とした持続可能な地域・社会づくり」より画像引用

■ 施設における再生可能エネルギーの活用、省エネルギー推進などにより、地域の「環境先進都市化」に貢献

価値概要

開発地域の環境への配慮

事例①: 日鉄鋼板 SGLスタジアム 尼崎(尼崎市/ファーム施設)

■ 脱炭素社会、循環型社会に資するファーム施設、公園の整備

- 環境に優しい取り組みを推進する「ゼロカーボンベースボールパーク」として整備、運営(太陽光発電・蓄電池の導入や廃棄物発電の活用、省エネの徹底による「脱炭素化」、ペットボトル・プラスチックカップの回収・リサイクルや雨水・井戸水の活用など)。脱炭素社会や循環型社会に資する新しい野球場、公園として創造
- 球場・球団施設にLEDナイター照明や太陽光・蓄電池を導入。大物公園、大物川緑地、尼崎市内の阪神電車の各駅においても徹底した省エネルギー化と再エネ設備を導入推進



脱炭素先行地域
兵庫県尼崎市

上記取り組みは環境省
「第1回脱炭素先行地域」に
認定

(出所) 尼崎市HP
(<https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/kankyo/hozen/1030389/1030390.html>) より
画像引用

事例②: Climate Pledge Arena(米国・ワシントン州/屋内競技場 (バスケットボール/アイスホッケー))

■ 環境に配慮したエネルギー・資源の活用に加え、エネルギーの 利用自体を抑える取り組みを実施

- 敷地内のソーラーパネルとAmazonのソーラーファームによって、電力の100%を再生可能電力によってまかなう
- 雨水を利用する「rain to link」システムを導入し、節水を推進
- アリーナでのイベントで使用される容器については、2024年までに使い捨てプラスチックを全廃する方針
- 試合のチケットは無料の公共交通機関パスとしても利用可能
- アリーナで提供される食材の少なくとも75%は半径300マイル以内の地元で調達され、未使用食品はすべて地域コミュニティに寄附



(出所) The Climate Pledge HP (<https://www.theclimatepledge.com/us/en/Stories/climate-pledge-arena-first-zero-carbon-certified-arena>) より引用

■ 地域に球場を移転すること自体が、ホームチームへの愛着向上につながり、地域への愛着向上に貢献

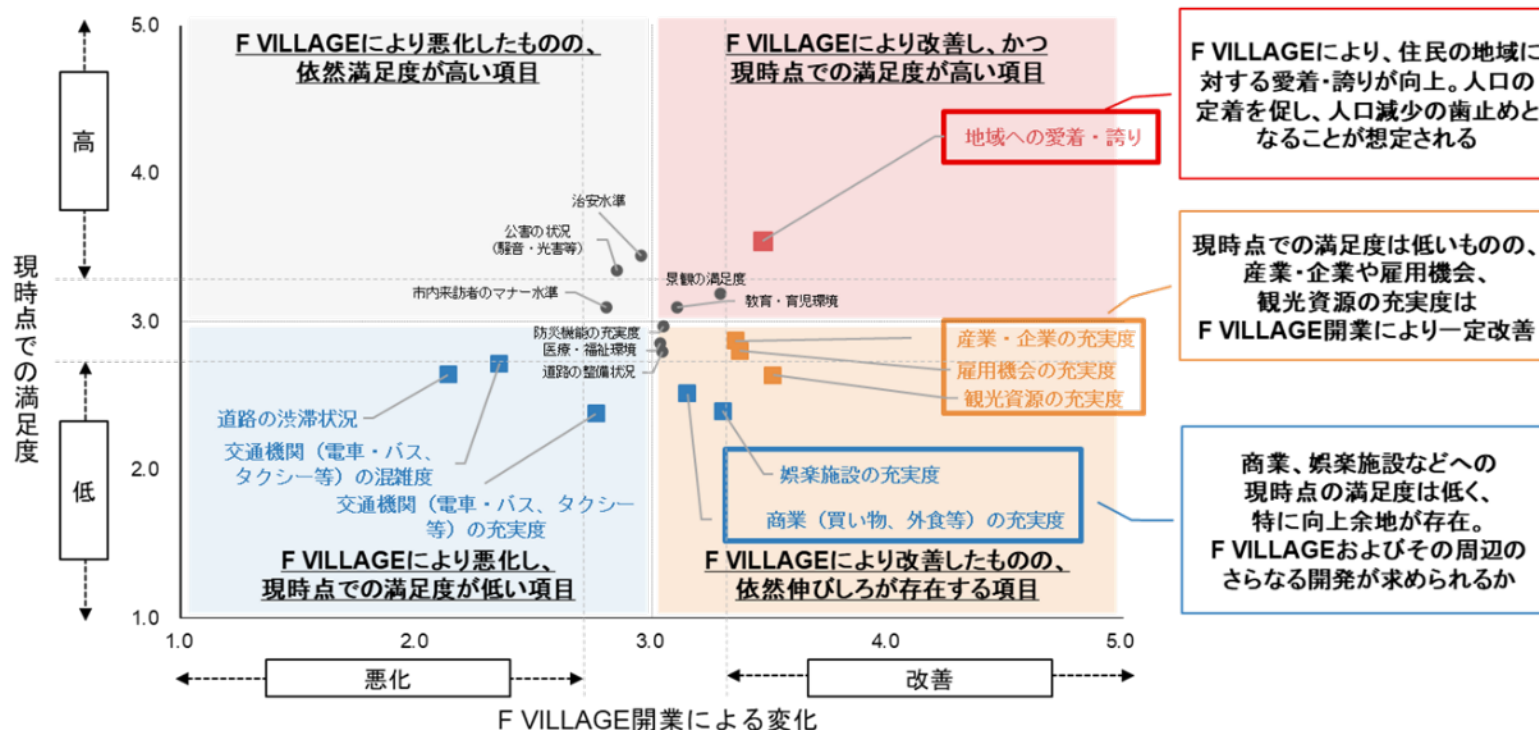
価値概要

地域のシンボルとしての球場が出来ることでホームチームへの愛着、地域への愛着が向上

事例①: エスコンフィールド(日本・北広島/1軍球場)

■ F VILLAGE開業による市民満足度の向上

- F VILLAGE開業により、住民が持つ地域への愛着・誇りが向上。将来の北広島市の人口流出防止に寄与することが期待される



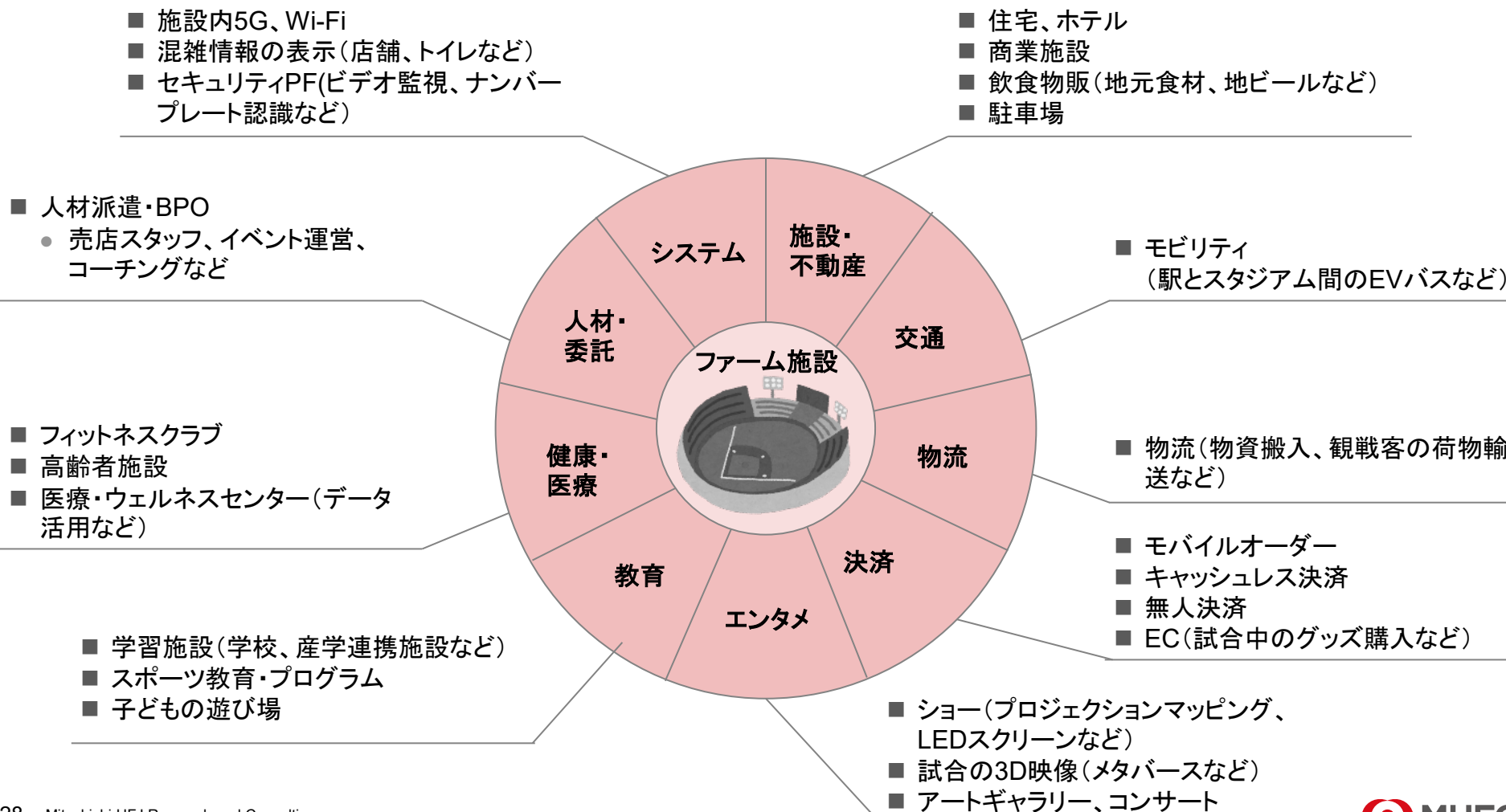
(出所) 北広島市の市民満足度調査結果(2023年11月実施)より当社作成

Ⅲ.ファーム施設開発に伴う 民間事業者にとっての事業機会

ファーム施設開発によって創出する民間事業者にとっての事業機会

- ファーム施設開発に伴い、幅広い領域で民間事業者にとって新たな事業機会が生まれる可能性を秘めている

ファーム施設開発によって創出する事業機会



(ご参考) F VILLAGEにおいて体現されたパートナー企業の事業機会

- パートナースhipなどを通じて、F VILLAGEに参画するステークホルダーにF VILLAGEを活用した多くの事業機会が創出された

施設・不動産

株式会社ヤッホーブルーイングとの共同事業として、クラフトビール醸造レストラン「そらとしば by よなよなエール」が開業



© H.N.F.

概要

- エスコンフィールド内のセンターバックスクリーン裏に、世界初となる、クラフトビール醸造所とレストランが一体化したレストラン「そらとしば by よなよなエール」がオープン

物流

ヤマト運輸株式会社と物流パートナーシップが締結され、F VILLAGEに最適な物流サービスを構築



© ヤマト運輸

概要

- Fビレッジにおける最適な物流サービスの構築
- お客さまの快適な観光や観戦をサポートする物流サービスの構築
- イベント実施に伴う機材の搬出入サポート

交通

BYD JAPAN株式会社とパートナーシップが締結され、EVバスなどクリーンエネルギーを活用したモビリティが導入



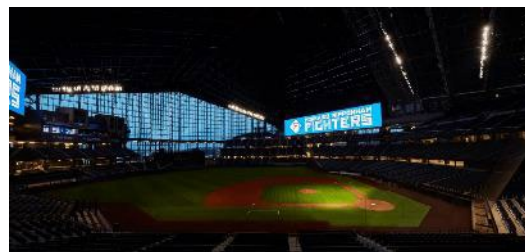
© H.N.F.

概要

- ビーワイディージャパンや他社との協働により、クリーンエネルギーを活用した持続可能な車両を導入
 - F VILLAGEとJR北広島駅などを結ぶ拠点間輸送においてEVバスが運行開始など

エンタメ

パナソニック株式会社とパートナーシップが締結され、パナソニックの技術を用いた多様な観戦スタイルの実現を目指す



©Panasonic

概要

- 照明、映像、音響などを連動した統合演出マネジメントシステムを導入。約600台のサイネージを設置
- 約350台の照明によりフィールド上の光がウェーブ状に動くなど、これまでにない照明演出が可能

(ご参考) F VILLAGEにおいて体現されたパートナー企業の事業機会

- パートナースhipなどを通じて、F VILLAGEに参画するステークホルダーにF VILLAGEを活用した多くの事業機会が創出された

教育

株式会社クボタ・国立大学法人北海道大学とパートナーシップが締結され、F VILLAGE内に農業学習施設「KUBOTA AGRI FRONT」が開業



©クボタ

概要

- クボタ・国立大学法人北海道大学とのパートナーシップに基づき、“食と農業”の魅力・可能性を、楽しくおいしく学ぶ農業学習施設がオープン

教育

株式会社ボーネルンドとパートナーシップが締結され、エスコンフィールド内においてキッズエリアが開業



© ボーネルンド

概要

- エスコンフィールド内に日本最大級の子ども向け「あそび場」がオープン(屋内・屋外)

健康・医療

株式会社ミライシアホールディングとパートナーシップが締結され、F VILLAGE内にシニアレジデンス併設のメディカルモールが開業



©日本エスコン

©日本エスコン

概要

- 子どもから大人まで、あらゆる年齢の方々の健康維持および地域医療への貢献を目指し、シニアレジデンスの1階、2階に、6つの医療施設からなるメディカルモールがオープン

人材・委託

株式会社東急コミュニティーとパートナーシップが締結され、エスコンフィールドの施設統括管理業務を委託



© H.N.F.

概要

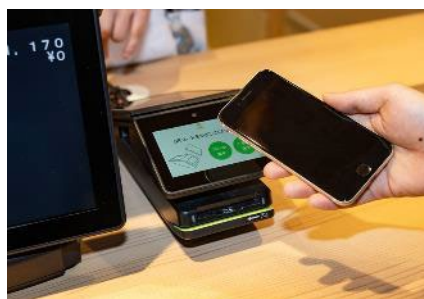
- エスコンフィールドのファシリティの運営管理・保守点検業務を両社および協力会社にて実施
- F VILLAGEの警備、清掃、植栽管理、除雪業務等を関連事業者と協働し実施

(ご参考) F VILLAGEにおいて体現されたパートナー企業の事業機会

- パートナースhipを締結した企業とFSEの間で、F VILLAGEにおけるキャッシュレス・モバイルオーダーのような新たなソリューション・テクノロジーの実証が一部で見られる

決済

エスコンフィールドにおける完全キャッシュレス決済化*1



© H.N.F.

概要

- **FSEが、「オフィシャルキャッシュレスパートナー」の三井住友カード株式会社・イオン北海道株式会社と協働し、キャッシュレス環境の構築を推進**
 - エスコンフィールド内の飲食・グッズ販売も含めた全店舗における完全キャッシュレス化
 - 他エリアにおけるキャッシュレス決済の導入

狙い

- **観戦体験のさらなる改善**
 - 決済にかかる時間の短縮
 - 上記に伴う、飲食店・グッズ販売店の待ち時間の解消
- **支払時の接触機会削減による衛生的な支払環境構築**

決済

エスコンフィールドにおけるモバイルオーダーサービス導入*2



© H.N.F.

概要

- **FSEが、エスコンフィールド内の一部飲食店において、北海道ボールパークFビレッジ公式アプリの新機能としてモバイルオーダーサービスを導入**
 - 店頭の行列に並ぶことなく、Fビレッジアプリからフードやドリンクを注文可能
 - 別事業者のサービスと併用することで、観客席までのデリバリーも可能

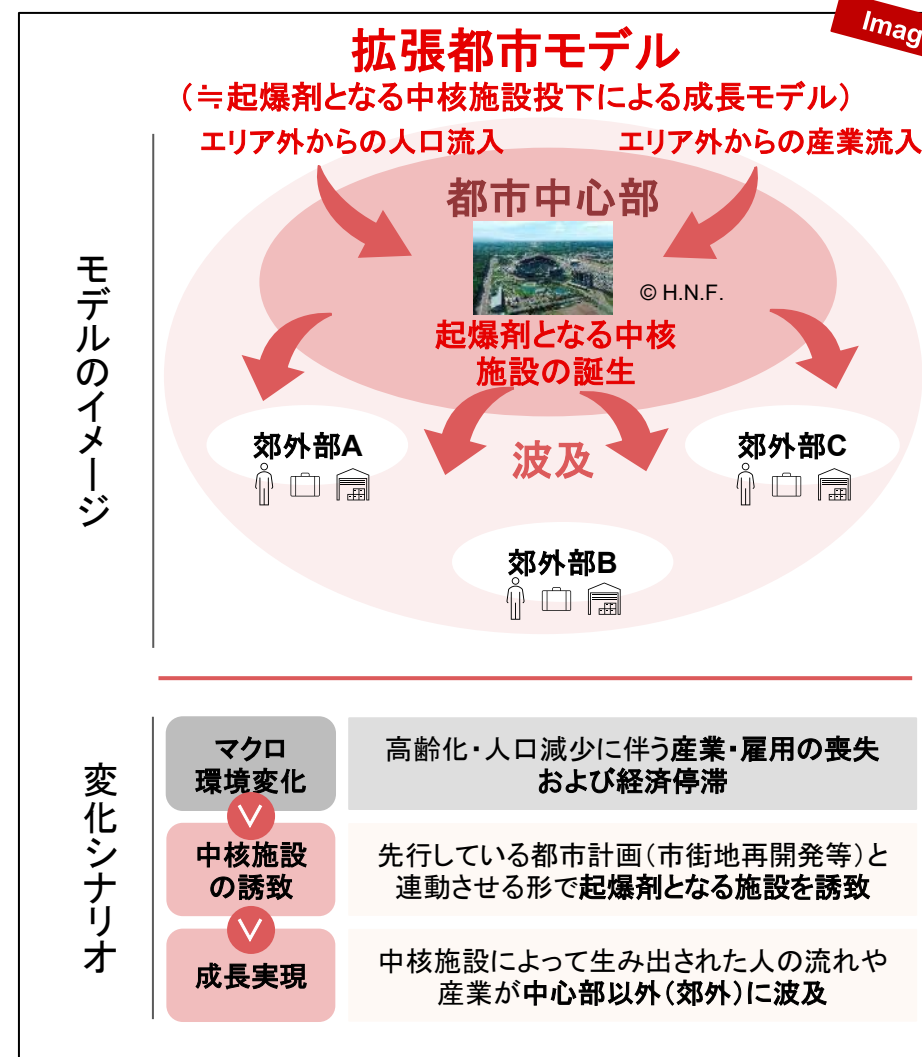
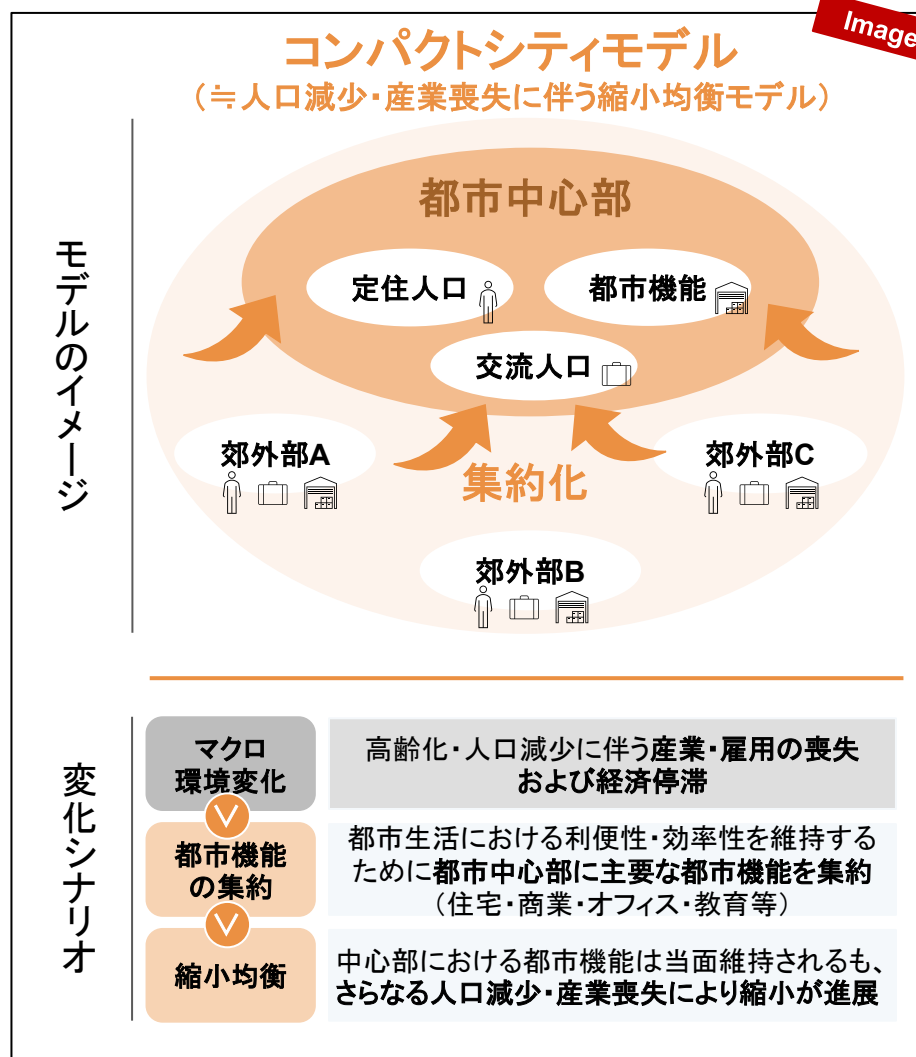
狙い

- **観戦体験のさらなる改善**
 - 飲食店の待ち時間の減少
 - 上記に伴う、飲食店の行列短縮や混雑度解消

IV.ファーム施設誘致によって目指すべき都市開発モデル

ファーム施設誘致によって目指すべき都市開発モデル

■ ファーム施設を人口と産業を呼び込む起爆剤として活用することで「縮小均衡」から「成長実現」につなげることが肝要



ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

本資料に関する問い合わせ先：

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 杉本・竹澤

E-mail : info@murc.jp

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

www.murc.jp/